

講師プロフィール

氏名	野見山 茂
所属団体	(株)CJCマーケティング さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会 (公財)佐賀未来創造基金 さが市民活動サポートセンター 佐賀県県民協働課 地域おこし協力隊 佐賀災害支援プラットフォーム【SPF】
活動	CSOご縁結び(法人営業など)、各団体への支援

さが。こども
未来応援
プロジェクト



SAGA CODOMO MIRAI SUPPORT PROJECT

どんな境遇の子ども達も見捨てない

「子どもの貧困」って？

- 貧困には絶対的貧困と相対的貧困の2種類がある
- 絶対的貧困とは人間として最低限の生活を営むことができない状態のこと
- 相対的貧困とは国民の年間所得の中央値の50%に満たない所得水準の人々のこと



貧困には絶対的貧困と相対的貧困の2種類あります。

絶対的貧困とは、着るものがない、食べるものがない、住む場所がないといった、衣・食・住において充実感を欠き、人間として最低限の生活を営むことができない状態のことを言います。

対して相対的貧困とは、国民の年間所得の中央値の50%に満たない所得水準の人々のことを指します。

「子どもの貧困」って？

- 日本の相対的貧困率は15.6%となり、7人に1人が貧困状態
- 相対的貧困率の15.6%のうちの半数がひとり親世帯である
- 一般的な水準の家庭よりも貧困家庭の子どもの方が学力が低い傾向がある

厚生労働省が発表した「平成28年国民生活基礎調査」によると、日本の相対的貧困率は15.6%となり、7人に1人が貧困状態にあると言われています。

また、相対的貧困率の15.6%のうちの半数がひとり親世帯であることも大きな問題です。
ひとり親の場合、家事と仕事、育児を一人で行わなければなりません。家事や育児の比重が高いほど、生活がより苦しいものとなります。
金銭的な問題だけでなく日々の疲労やストレスが蓄積されていくと身体的・精神的な問題にもつながりかねません。
ひとり親世帯は子どもにも悪影響が出る可能性もあります。

例えば、親はお金を稼がなくてはいけないため深夜まで仕事をし、家に帰れないというケースです。
そうなった場合、子どもは1人で過ごさなくてはいけなくなり、コミュニケーションを取る機会が減ってしまいます。

コミュニケーションは成長過程において重要な要素です。疎かになってしまうと子どもが大人になった時に苦労します。
また、一人では勉強でわからないことがあっても聞くことができず、宿題をする習慣も身に付かないなど学力低下につながる要因が多いのが実状です。

さらに貧困が原因で塾や習い事など、学校以外で学習する機会が少ないことも教育格差につながります。
日本財団が発表したデータによると一般的な水準の家庭よりも貧困家庭の子どもの方が学力が低い傾向があるという結果も出ています。幼少期から差が出始めると、大人になったときにより大きな経済・能力格差になってしまうのです。

「子どもの貧困」って？

- 親が仕事をしていない、またはアルバイトなどの非正規雇用のため給与が少ないなどが貧困の根本的な原因
- ひとり親家庭の増加傾向
- 離婚後、8割の父親が養育費を払っていない

親の収入の問題

親が仕事をしていない、またはアルバイトなどの非正規雇用のため給与が少ないなどが貧困の根本的な原因です。

親が定職に就けるような仕組みを作る必要がありますが、難易度は高いでしょう。

ひとり親家庭の増加

未婚の母や離婚によるひとり親家庭が増え、貧困家庭の多くがひとり親家庭であることは、内閣府が2018年に公表した「国における子どもの貧困対策にの取り組みについて」を見てもわかります。

内閣府「ひとり親家庭の離婚後の収入」によると、離婚後の養育費を支払っていない父親は8割以上であることがわかり、ひとり親家庭の貧困の原因の1つです。

社会的損失と教育格差

- 子どもの貧困がもたらす社会的損失は、42.9兆円に及ぶと言われている
- 貧困家庭の子どもは一般的な家庭と比べて学習環境が悪く、能力も低くなる傾向にあり社会的損失に直接つながる
- 進学ができないということは非正規雇用や低い給料で働かざるを得ない

日本財団の調査報告

県内での生の声

- 多重な困難を抱え「孤立」している子どもたちと親
- 「子どもの貧困」の根底にある「関係性の貧困」
- 「給食が唯一の食事である子ども」
- 「遠足や修学旅行などの支払いができなくて参加できない子ども」
- 子どもの貧困の現状は、
- 「親も子どもも生活に困っていることを知られたくない」
- 「親が忙しくて『困っている』という声をあげる余裕がない」
- 等の理由から社会からは分かりにくく、そのために親も子も孤立しがちになり、状況はますます複雑に、そして深刻になっています。
- その他にも、
- 「親が仕事で帰りが遅いため、家に帰りたくない子ども」
- 「虐待などを受け、それでも、親が好きで苦しんでいる子ども」
- など、支援機関での相談の中には、子どもや親の様々な「SOS」があり、行政やNPO等の支援機関では、声なき声を拾い上げようと、最前線で立ち向かい、精一杯支え続けてくれています。



親の苦悩、、、



- 親の声「自分が病気にもなることすら許されない」
- ひとり親家庭のお母さんやお父さんたちは、制度の届きにくい生活の狭間で、悩みながら日々懸命に仕事や子育てや家事などを行っています。
- スマイルキッズ代表／ブリッジフォースマイル 佐賀事務局 スタッフで、子ども5人のひとり親家庭である『福島めぐみさん』は言います。
- 「どんな境遇になっても、子どもを見捨てたい親などは絶対にいない。」
- 「子どもに自分の家庭が貧困だとは思わせたくない。」
- 制度の矛盾などに葛藤を抱えながらも、現実での子どもや自分自身の今と未来のために毎日をしっかりと暮らしているのです。
- 学校に入学する時に子どもは言います。
- 「制服は貰い物でも我慢するけど、バックだけは友達と同じ新品がほしい。」
- 子どもが学校から教材購入案内をもらってきても
- 「家庭状況を知っている子どもは、教材が必要、新しい物がほしいとなかなか親に言えない。」
- 保育園のお昼寝布団からはじまり、ランドセル、画板、お習字セット、絵具セット、ピアノカ、裁縫セット、縦笛、制服、ヘルメットなどなど、親はいつも子どものために節約しながら、歯を食いしばっても常に笑顔で働き続けています。

困窮家庭「食費足りない」

県子ども生活調査 コロナ禍、さらに苦しく

「子どもの貧困」の実態だ。「食費が足りない」「朝に追う」と佐賀県が実施した「子どもの生活実態調査」。所得が低い世帯の子ども3割は、朝食を毎日食べていない状況が浮かん

だ。「食費が足りない」「朝食は食べないことが多い」。切実な声は支援の現場にも寄せられ、新型コロナウイルスの影響も及んでいる。

□1面参照

鹿島市社協は、困窮家庭に米や、そうめん、菓子類など食品を支給する「フードバンク」を実施している。8・9月には弁当を無料宅配する取り組みも行い、栄養バランスのとれた夕食をひとり親家庭などの16世帯に3・4日間届けた。

職員の諸上友美さんは「寄せられる相談で実感するのは、もともとうまく回っていなかった家計が、コロナ禍でさらに苦しくなっている」と指摘する。切り詰めた生活が続いて食費を捻出できず、「子どもには食べさせているけど、自分は食べていないという親も

困窮家庭を支援する食品を保管している鹿島市社会福祉協議会のフードバンク。担当者は「コロナ禍でさらに家計が苦しくなっている世帯もある」と指摘する。

コロナと災害禍における現状

- 災害時において、弱者への影響は大きいのが現状
 - 自然災害(豪雨など)時、居場所が被災することで、従前のよりどころがなくなるケースや、勤務先の被災による収入減などの現象がおきている。
 - さらに、コロナにおいては、感染拡大に伴い居場所の閉鎖や、勤務時間の減少など家庭をとりまく影響は大きい。
 - 7割くらいが開催・ほとんどがフードパントリー型
 - 空家・空地活用サポートSAGA
- 「暴力的・収入減・リストラ・離婚・住まい・住所・生活保護・イベントや居場所にお誘い」

コロナ禍だからこそ対話をやめない

□ マッチング交流会の発展型として



おしゃべりカフェ(オンライン)1回目 2021.6



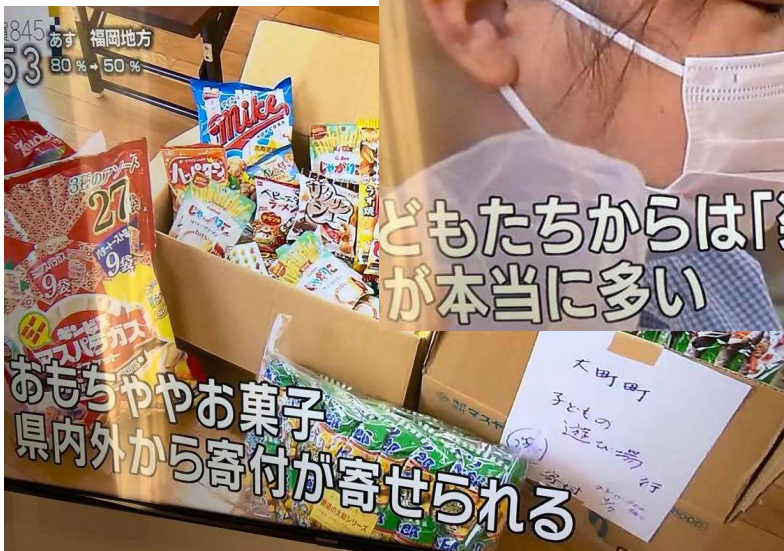
おしゃべりカフェ(オンライン)2回目 2021.7

参加企業の声

- ・ 佐賀の街をよくしたいという代表の考えを実行するために参加した
- ・ 単発の支援でなく継続的にできることを探したい
- ・ コロナが流行する前は金銭の仕組みを子どもたちにゲームで知ってもらおうことを行っていた。今コロナ禍で何とかできる仕組みを考えている。

コロナ禍だからこそ繋がりが続ける

□ 被災地でも開催される大町や武雄でのこどもの居場所



Country	Year	Value
China	2014	1.00
China	2015	1.00
China	2016	1.00
China	2017	1.00
China	2018	1.00
China	2019	1.00
China	2020	1.00
China	2021	1.00
China	2022	1.00
China	2023	1.00
China	2024	1.00
China	2025	1.00
China	2026	1.00
China	2027	1.00
China	2028	1.00
China	2029	1.00
China	2030	1.00
China	2031	1.00
China	2032	1.00
China	2033	1.00
China	2034	1.00
China	2035	1.00
China	2036	1.00
China	2037	1.00
China	2038	1.00
China	2039	1.00
China	2040	1.00
China	2041	1.00
China	2042	1.00
China	2043	1.00
China	2044	1.00
China	2045	1.00
China	2046	1.00
China	2047	1.00
China	2048	1.00
China	2049	1.00
China	2050	1.00
China	2051	1.00
China	2052	1.00
China	2053	1.00
China	2054	1.00
China	2055	1.00
China	2056	1.00
China	2057	1.00
China	2058	1.00
China	2059	1.00
China	2060	1.00
China	2061	1.00
China	2062	1.00
China	2063	1.00
China	2064	1.00
China	2065	1.00
China	2066	1.00
China	2067	1.00
China	2068	1.00
China	2069	1.00
China	2070	1.00
China	2071	1.00
China	2072	1.00
China	2073	1.00
China	2074	1.00
China	2075	1.00
China	2076	1.00
China	2077	1.00
China	2078	1.00
China	2079	1.00
China	2080	1.00
China	2081	1.00
China	2082	1.00
China	2083	1.00
China	2084	1.00
China	2085	1.00
China	2086	1.00
China	2087	1.00
China	2088	1.00
China	2089	1.00
China	2090	1.00
China	2091	1.00
China	2092	1.00
China	2093	1.00
China	2094	1.00
China	2095	1.00
China	2096	1.00
China	2097	1.00
China	2098	1.00
China	2099	1.00
China	2100	1.00
China	2101	1.00
China	2102	1.00
China	2103	1.00
China	2104	1.00
China	2105	1.00
China	2106	1.00
China	2107	1.00
China	2108	1.00
China	2109	1.00
China	2110	1.00
China	2111	1.00
China	2112	1.00
China	2113	1.00
China	2114	1.00
China	2115	1.00
China	2116	1.00
China	2117	1.00
China	2118	1.00
China	2119	1.00
China	2120	1.00
China	2121	1.00
China	2122	1.00
China	2123	1.00
China	2124	1.00
China	2125	1.00
China	2126	1.00
China	2127	1.00
China	2128	1.00
China	2129	1.00
China	2130	1.00
China	2131	1.00
China	2132	1.00
China		



2018年は県内10か所程度の子ども食堂
佐賀市内11か所
佐賀県内41か所(定期開催)
3か所(不定期開催)

http://saga-codomo.com/ibasho/index_01.php

私たちにできること～繋がりと仕組みづくり～

SUPPORT

すべての子どもの安心と希望の実現に向けて！
地域から本気で取り組む、継続的に地域を支えるプラットフォーム



CONCEPT



子どもにとっての地域の居場所一。
それは、自分のいる場所を指すこともあれば、
得意分野を指すこともある。
自分に関わり、自分を見て、自分に声をかけて、
自分の話を聞いてくれる時間。
それを通じて、子どもたちの中に「何か」が溜まっていく。
学校でもなく、家庭でもない。
「ナナメのつながりづくり」。
子どもの将来を地域で一体となり育みたい。
そんな気持ちが集う場所です。



- ・公益財団法人 佐賀県国際交流協会(SPIRA)⇒外国籍の家族
- ・特定非営利活動法人 空家・空地活用サポートSAGA⇒生活困窮 など



さが・こども未来応援プロジェクト

SAGA CODOMO MIRAI SUPPORT PROJECT

私たちの活動

□ 官民協働のGCF寄付集めから基金をつくりスタート

どんな境遇の子どもたちも見捨てない!佐賀県発の『子ども救済システム』

📍 佐賀県NPO支援

📍 佐賀県NPO支援



寄附募集期間:2017年11月20日~2018年3月31日(132日間)

寄附金額

14,813,764円

支援人数 450人

ツイート

G+ シェア

いいね!

シェア

目標金額 10,000,000円

終了まで 受付終了



♡ お気に入りに追加する

このプロジェクトは終了しました

＞ お礼の品を選んでこのプロジェクトへ寄附をする



さが・こども未来応援プロジェクト

SAGA CODOMO MIRAI SUPPORT PROJECT

お金とモノの助成事業

- こどもの居場所の設立運営助成金も行政とも連携
- 食材・教材・おやつなどの毎月の応援

地域の「居場所」の担い手として
頑張られている方々を応援します。

さがっこ基金

SAGAKKO FUND

第2回さが・こども未来応援基金

2017年11月20日「世界子どもの日」に、
ガバメントクラウドファンディング(GCF)を立ち上げ、
プロジェクトに賛同していただいたみなさまから、
これまでに約1,470万円を超える、
思いのこもったご寄付をお預かりしています。
私たちは、「子どもの貧困」が起きる原因は
『経済的貧困』だけでなく、
根底に『関係性の貧困＝社会的孤立』があると考えます。
そこで、GCFへの応援寄付をもとに、本基金を設立いたしました。

申請期間
2018年9月25日(火)～10月31日(水) 17時必着

対象となる団体
下記の<1>～<3>のすべてを満たしている団体を対象とする。

<1>応募条件

- ・佐賀県に拠点を置く団体であること。
- ・佐賀県にて活動を行う団体であること。
- ・法人格の有無は問わない。

<2>助成対象活動

■助成対象A
・子どもの居場所づくりをはじめ、子ども本人を直接支援する活動
・子ども及び親を取り巻く環境づくりを直接応援する活動

■助成対象B
・子どもの居場所づくりのための人材育成事業(研修受講、養成講座開催など)
※A、Bいずれも原則として2018年4月1日～2019年3月31日(平成30年度末)までに完了する事業を対象とします。
※申請内容に応じて、契約締結後の事業経費も助成します(ただし、助成対象期間開始日である2018年4月1日以降に限りです)。

<3>第三セクターによる認定等

- ・日本財団が提供する公益事業コミュニティサイト「CANPAN」に団体登録し、換算開示レベル★3つ以上を獲得していること。

【問い合わせ先】
さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会事務局
TEL: 090-9482-4434 FAX: 0952-43-3123
mail: info@saga-codomo.com

SAGA CODOMO MIRAI SUPPORT PROJECT

2018年度「子どもの居場所」へプレゼント事業
こどものために、こどものモノを。

こども

CODOMO

さが・こども未来応援プロジェクトでは昨年度、
「どんな境遇の子どもたちも見捨てない！」をスローガンに、
佐賀県ふるさと納税「NPO等を指定した支援」に取り組み、
およそ1,470万円のあたたかなご支援を賜り、そのうち割のご支援において、
ふるさと納税の返礼品を「子どもの居場所」にプレゼントするメニューをご指定いただきました。
ご指定いただいた返礼品「佐賀県産のお肉」、「佐賀県産のお米」、「佐賀県産のお野菜」、
「教材」、「おやつ」を、佐賀県内の「子どもの居場所」へお届けします。

応募条件

以下の2点を、お届けした日から1カ月以内にメールまたは郵便にて
必ず提出できる佐賀県内の「子どもの居場所」

01 活動の様子がわかる写真
02 居場所の子どもたちから支援者への「ありがとうの手紙」

※ふるさと納税にてご寄付いただいた返礼品を「子どもの居場所」にプレゼントするメニューをご指定ください。

応募締切
平成30年9月～平成31年2月
毎月20日
※1居場所につき毎月1回まで

応募方法
裏面「申込書」に必要事項を記入の上、FAXまたはメール添付にて送信、もしくはWeb上の「申込フォーム」よりご応募ください。

【問い合わせ先】
公益財団法人 佐賀未来創造基金
TEL: 0952-26-2228
FAX: 0952-37-7193
mail: info@saga-mirai.jp

SAGA CODOMO MIRAI SUPPORT PROJECT



毎年のGCFの挑戦と企業連携での奨学金制度創設

ふるさとチョイス

ふるさと納税とは？ | 寄付と控除の仕組み | GCF | 自治体関係者のみなさんへ | ログイン | 会員登録 | 寄付 | 寄付履歴 | 寄付金控 | 寄付金証明書 | 寄付金控え | 寄付金控え | 寄付金控え

クラウドファンディングTOP > 【引き続きご支援を受付中！】どんな境遇の子どもたちも見捨てない！佐賀県発の『子ども救済システム』

【引き続きご支援を受付中！】どんな境遇の子どもたちも見捨てない！佐賀県発の『子ども救済システム』

達成金額 **14,668,764円**

目標金額：10,000,000円

達成率 **146.7%** 支援人数 **437人** 終了まで **61日 / 132日**

佐賀県発の子ども救済システム

どんな境遇の子どもたちも見捨てない！

貧困の連鎖を断ち切る『さが・こども未来応援プロジェクト』

このプロジェクトに参加

プロジェクト締切日：2017年11月20日～2018年3月31日（132日間）

ふるさとチョイス

今までにご参加いただいた応募者数 **4,663,235,717** 円

ふるさと納税ガイド

プロジェクト一覧 応援メッセージ 過去実績 GCFとは ふるさとチョイス 運営支援

TOP > 受付中プロジェクト > 【引き続きのご支援をお願いします】どんな境遇の子どもたちも見捨てない！孤立する子どもたちをなくし、貧困の連鎖を断ち切る佐賀県発『子ども救済システム』

【引き続きのご支援をお願いします】どんな境遇の子どもたちも見捨てない！孤立する子どもたちをなくし、貧困の連鎖を断ち切る佐賀県発『子ども救済システム』

達成!

どんな境遇の子どもたちも見捨てない!

貧困や孤立に悩む子どもたちに「居場所」を

寄附金額 **10,060,000円**

100.6%

目標金額:10,000,000円

達成率 **100.6%** 支援人数 **338人** 終了まで **31日 / 132日**

ふるさとチョイス

プロジェクトを探す

応募者数 **7,206,351,527** 円

ふるさと納税ガイド

プロジェクト一覧 応援メッセージ GCFとは ふるさとチョイス 運営支援

TOP > 受付中プロジェクト > どんな境遇の子どもたちも見捨てない！子どもたちの孤立を防ぎ、誰一人取り残さない佐賀県発『子ども救済システム』

どんな境遇の子どもたちも見捨てない！子どもたちの孤立を防ぎ、誰一人取り残さない佐賀県発『子ども救済システム』

カテゴリ：子ども・教育

達成!

どんな境遇の子どもたちも見捨てない!

関係性の貧困に悩む子どもたちに「居場所」を

寄附金額 **12,127,000円**

121.2%

目標金額:10,000,000円

達成率 **121.2%** 支援人数 **304人** 終了まで **3日 / 90日**

佐賀県NPO支援（さがけん えぬびーおーしえん）

お気に入り済

ふるさと納税で応援

ふるさとチョイス

プロジェクトを探す

応募者数

プロジェクト一覧 応援メッセージ

TOP > 過去実績 > 進学を諦めない！ふるさと納税『入学応援給付金』プロジェクト

進学を諦めない！ふるさと納税『入学応援給付金』プロジェクト

カテゴリ：子ども・教育

達成!

ふるさと納税『入学応援給付金』プロジェクト

進学を諦めない!

ツイート いいね! シェア



寄附金額 **5,099,438円**

101.9%

目標金額:5,000,000円

達成率	支援人数	終了まで
101.9%	169人	受付終了

佐賀県NPO支援（さがけん えぬびーおーしえん）

お気に入り済

このプロジェクトは終了しました



佐賀県と連携した 勉強会や交流会の定期開催

□ 実践者同士をはじめ、支援者をつなぐ機会

子どもの居場所キックオフミーティング

／ どんな境遇の子どもたちも見捨てない ／

子どもの居場所開設への一歩を
踏み出してみませんか？

第1部 キックオフミーティング
＜基調講演・助成事業の説明＞

第2部 子どもの居場所に必要な支援を考える
＜支援事業の説明・事例紹介・個別相談会＞

さが。こども未来応援
プロジェクト

SAGA CODOMO MIRAI SUPPORT PROJECT

要予約

託児スペースも
設けてあります。

ご希望の方は、5月25日
までにお申し込みください。

子どもにとっての地域の居場所。それは、自分のいる場所を指すこともあれば、得意分野を指すこともある。自分に関わり、自分を見て、自分に声をかけて、自分の話を聞いてくれる場所。それを通じて、子どもたちの中に「何か」が生まれていく。学校でもなく、家庭でもない。「ナナメのつながりづくり」。子どもの将来を地域で一体となり育みたい。そんな気持ちが集まる場所です。

参加費無料

2018年6月3日(日) 13:00-16:00

at 佐賀市青少年センター 大会議室
佐賀市松原2丁目2-27 佐賀パルーンミュージアム3F

子どもの居場所に
必要な支援を考える意見交換会【太良会場】

はじめての子どもの居場所開設
どうする？
何に気をつける？

第1部 13:10-14:00
事例発表・情報提供

第2部 14:10-15:00
意見交換会

2018年8月26日(日) 13:00-15:00

at ゆたたり館
道の駅太良 たらふく館横
佐賀県藤津郡太良町大字伊福甲 3488-2

さが。こども未来応援
プロジェクト

SAGA CODOMO MIRAI SUPPORT PROJECT

要予約

託児スペースも
設けてあります。

ご希望の方は、
8月17日(金)までに
お申し込みください。

参加費無料

第1部 事例発表・情報提供 13:10-14:00

事例発表
13:10-13:25
社会福祉法人たまはな会 第二たちばな学園
施設長：黒 謙次郎
現在、鹿島にあるはなもん食堂で、子ども食堂を月一回第二土曜日に開催されています。

プレゼン：居場所開設に向けて
13:25-13:35
プレゼンター：一般社団法人 太良と生きる
太良町で現在、居場所の立ち上げを検討しているグループです。これから立ち上げを検討していく中で、どんな居場所を作りたいかどんなことが課題なのかプレゼンしてもらい、解決に向けて考えていきます。

衛生管理と資源調達 13:35-14:00

食品衛生に関する出前講座
13:35-13:50
料理保健福祉事務所：食品衛生担当

居場所設置に対して必要な資源の情報提供
13:50-14:00
子どもの居場所拡大に係る開設支援連絡
コーディネーター：ヨコオタカト

「居場所」で、食事や食品を提供する場合に、衛生上気を付けなければならないことなどについて説明します。

「ヒト」「モノ」「カネ」立ち上げに必要な資源はどのように調達したらいいのか説明します。

第2部 意見交換会 14:10-15:00

▶ 個別テーマによるグループワーク

太良町で居場所を設置するにあたり、課題の解決を行い、新たな発見を行いましょう。

さが。こども未来応援プロジェクト
実行委員長：山田 健一郎

子どもの居場所の開設や持続可能な運営するために必要な「人」「もの」「金」「情報」などの地味命題をテーマに、参加者とともに、ワークショップを交えて意見交換していきます。

お名前 団体名 連絡先

姓 名 氏名 希望の場（子ども・人・年齢）

申込先：さが。こども未来応援プロジェクト実行委員会
TEL: 090-9482-4434 (内川) FAX: 0952-37-7193 mail: info@saga-codomo.com

申込書に記載された内容は申込の目的のために使用し、それ以外での使用いたしません。

※申込書に記載された内容は申込の目的のために使用し、それ以外での使用いたしません。

さが。こども未来応援プロジェクト
SAGA CODOMO MIRAI SUPPORT PROJECT

こどもの居場所を応援してください！

- 子どもも大人も「地域の居場所」を必要としています
- 新型コロナウイルス感染症の影響で子どもを取り巻く環境は更に悪化しています。
- 子どもの未来の可能性が狭まっています。
- 地域でできることはまだまだたくさんあります。
- ボランティア
- 寄付(コロナ対策・居場所応援・奨学金など)
- できることをできるだけ。。。。

こどもの居場所・地域の居場所を
皆でつくっていきましょう。

どうぞよろしくお願いいたします。

さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会



子どもたちの身近に
居場所を!

さが・こども未来応援プロジェクト

さが。こども
未来応援
プロジェクト



SAGA CODOMO MIRAI SUPPORT PROJECT

どんな境遇の子ども達も見捨てない